



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

7/2(木) 学校朝会(オンライン)

キーワードは「国際性」

7/2(木) 学校朝会をオンラインで行いました。
今回の朝会のテーマは、みだしの「キーワードは『国際性』」でした。

まず、先日の「宮古地区英語パフォーマンスコンテスト『プレゼンテーション部門』」で最優秀賞を受賞した皆さんによるプレゼンテーションを披露してもらいました。



タイトル「宮古島をゴミ箱にはさせない！
Miyakojima City IS NOT
Trash Can！」さすが最
優秀賞！内容も発音も見
事な英語プレゼンテーシ
ョンでしたね。

続く私からの話では、
「国際性」に関わる「台
湾からの国際交流団受け
入れ」について話をし
ました。画像のポケット
ブックをもとに、「日本
語の『こんにちは』を北
京語で？(ニーハオ)」「主
体性」「自己調整力」「協
働力」を発揮し、勇気を出
して、交流してほしいこ
とを伝えました。



台湾国際交流の目的「漢口國民中學との国際交流を
通して、グローバルな視野をもち、互いの文化を尊重
するようにする。交流に必要なコミュニケーション能
力を高める。」が達成できるようにしましょう。

勇気を出して、北京語を使って話しかけてみましょう。
また、聞いてみたい事を前もって準備したり、宮古島のことを紹介
したり出来るようにしましょう。

	日本語	北京語の言い方
1	こんにちは	ニーハオ
2	ありがとう	シエシエ
3	どういたしまして	ブーフエイ または ナアリー
4	すみません	トエイブチー
5	さようなら	ツァイチエン
6	気を付けて行ってね	マンソウ
7	私は～といいます	ウォーチャオ ～
8	どうぞよろしく	チントウオクワンザオ
9	おなまえは？	ニンクエイシン
10	おいくつですか？	ニイジースイ
11	よくわかりません	ブータイトン
12	おなかがいっぱい	パオラ
13	おいしい	ハオツー
14	どんなスポーツが好きですか	ニイシーホワン センマユントン
15	私は～が好きです	ウォーシーホワン～
16	どんな音楽が好きですか	ニイシーホワン センマ インユエ
17	今流行してるのは何ですか	ツエンツァイ ツエイリョウシン ダスーセンマ
18	あなたは～を知っていますか	ニイツータオ ～ マ？

ポケットブックの最後のページには、①国際交流初
日 7/3(金)、②最終日 7/6(月)、③交流全体の振り返
り、それぞれ記入する欄が設けてあ
ります。全校生徒では少ない交流機
会なのですが、「キーワードの『国際
性』」に対する学び・育ちを実感する
とともに、記入欄①～③にも、多く
の言葉が綴られていることを願って
おります。よろしくお願いします。



7/3 (金)

台湾からの国際交流団が来島

【下地中と漢口國民中學との交流】

下地中が台湾との国際交流を始めて、今年で27年目を迎えました(途中、感染症や災害などで中断することもあったため、実際の交流は22年目となります)。下地中学校にはこの交流を記念し、図書館の裏に「台湾の森」が整備されています。

今年度は7月に台湾からの交流団15名を迎えて受け入れを行い、そして翌月には下地中からの交流団10名を台湾に派遣します。

7/3 (金)、待ちに待った「台湾からの国際交流団」が宮古島に来島しました。受け入れメンバー



は、パートナーのお迎えで下地島空港に行きました。今回は、台湾からの直行便を利用していました。飛行機は9:30に到着したものの、手荷物を受け取り、税関を通過して出てきたのは10:20頃でした。

次は、宮古島市役所に行きました。嘉数登市長を表敬するためです。この表敬は、宮古島市役所3階会議室で、宮城克典教育長も同席して行われました(11:30～11:50の20分間)。羽地芳子さんによると、漢口國民中學の訪問団が宮古島市長を表敬したのは今回が初めてだったそうです。訪問団の生徒を代表し林叙辰さんは、流ちょうな日本語で堂々と挨拶を述べてくれました。



嘉数登宮古島市長の表敬後、一行は下地中学校に移動しました。荷物を下ろし、休憩をした後、各教室で「交流給食」を行いました。献立は、「オニオンスープ・ターメリックライス・鶏肉のケバブ・牛乳」でした。羅國俊校長も、「好吃(ハオツー/おいしい)」と言っていました(おかわりをした人もいたようです)。

清掃、休憩の後、全校生徒による「台湾漢口國民中學交流団歓迎式」を、体育館を会場にして行いました。吹奏楽部の演奏による入場を行い、歓迎の舞として3年有志による「川満の棒踊り」が披露されました。交流団団長である羅國俊校長の挨拶、交流団全員の自己紹介、下地中校長や生徒会長による歓迎の挨拶の後、全校生徒によるレクリエーション「SHOWandTELL」というゲームを行いました。

方法は、プロジェクターに映し出されたお題(画像)を見た下地中生徒が、漢口中の生徒に、英語でヒントを伝え、正解させるというゲームでした(3年生が強かったですね)。ゲームの後はお土産をいただきました。最後に、参加者全員で記念撮影をしました。

☆続きは次号で。





となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしゅう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

7/3(金)PTA主催

台湾国際交流団の歓迎式

7/3(金)、待ちに待った台湾からの交流団を受け入れました(2年に一度)。

夜は、下地農村環境改善センターを会場に、PTA主催の「台湾国際交流団歓迎式」を行いました。

会場には、旧下地町長の川満 省三 様や宮古島市教育委員会 宮城 克典 教育長をはじめとする多くの来賓にもご出席いただきました。



また、交流団をもてなす食べ物については、ホストファミリーを中心に、多くの料理が所狭しと並べられていました(刺身や天ぷら、唐揚げやラフテー、ゴーヤチャンプルー、ゆし豆腐そば、タコライス、サンドイッチ。デザートはさたぱんびんやケーキ、わらびもち、ジーマミ豆腐など)。おかげでお腹も心も満たされました。本当に、ありがとうございました。

歓迎式のプログラムでは、交流団による自己紹介、来賓による祝辞(川満 省三 様)・激励の挨拶(宮城 克典 教育長)がありました。余興では、三線教室に通う子ども達による民謡の演奏や、本校卒業生 友利 ひとは さんによる琉球舞踊、



3年男子の有志によるエイサーが披露されました(中央でパーランクーを叩いているチョングラー役は、松川藍丸さん)。

また、保護者の多和田 操 さんによる三線演奏もあり、場を盛り上げていただきました。最後は、クイチャーをレクチャーした後、全員が輪になり、演奏に合わせて楽しく踊ることができました。

この歓迎会で初日の日程を終了しました。初めは緊張で言葉数も少なく、距離感のあった子ども達でしたが、下の画像を見ると笑顔が増え、距離も縮まってきた感じがしました。



◎歓迎会がこのように盛大に開催できたのは、多くの方々から食品の提供や寄付をいただいたからです。誠にありがとうございました。

7/4(土)受け入れ2日目

台湾からの国際交流団が来島

「台湾からの国際交流団」受け入れ2日目の7/4(土)、8:30に下地中学校に集合し、東平安名崎に向かいました(右の画像は、現地で宮古テレビの取材を受けている様子です)。



次に、海宝館に行きました。海宝館では、まず、貝細工の体験、施設見学などをしました。

そのあと、みんなで昼食を食べました。沖縄そば、ラフター、もずくや海藻などを「好吃(ハオツー)」と言いながら食べました。



そして一行は、うえのドイツ文化村に行きました。キンダーハウスのベルリンの壁や、ハート岩を見学したりしました。



次は、生徒が待ちに待ったマリナクティビティです。場所は、来間ビーチに行きました。



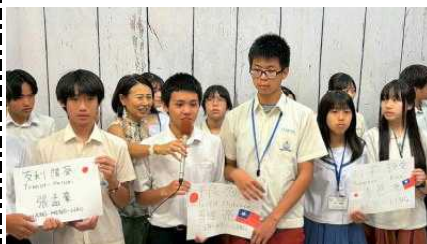
現地ではホストファミリーもSUPやライフジャケット、シュノーケリングセットや浮き輪などを用意してくれて、思い思いのマリンレジャーを楽しむことができました。



来間ビーチでの楽しい時間はあっという間に過ぎ、いったん解散をして、夕方、宮古テレビに再集合をしました。受け入れの際、恒例となっている、宮古テレビの番組「あがんにゃ」への出演です。



今回の出演は総勢30人ということもあり、スタジオぎゅうぎゅうでした(見学するのにも苦労でした)。リハーサルでは元気のなかった漢口中學の生徒も、本番では大きな声で答えてくれています。



2日目は、宮古テレビで解散をしました。お疲れ様でした。この夜から3日目は、ホストファミリーとのフリータイムです。バーベキューをしたり、スターウォッチングしたり、マリナクティビティを楽しんだり、充実した時間を過ごしたと聞きました。





となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

7/6(月)受け入れ最終日

台湾からの国際交流団が来島

7/6(月)、台湾からの国際交流団が3泊4日の滞在日程を終え、宮古島を旅立つ日となりました。登校は、下地中学校の普段通りの8:15。



台湾交流室で待機している時間を利用して、パートナー同士で七夕の短冊を書きました。



漢口中學の生徒の書いた短冊には、「ご健康とご多幸をお祈り申し上げます。成績が向上しました。」「希望一切平安」「いつか美しい自然景観を誇る宮古島にまた来たいです。」「またいつかお会いできるといいですね。皆さんの健康を祈っています。そして、すべての夢が叶いますように。」と、思いやりあふれる



メッセージが綴られていました。

9:00からは体育館での「お別れ会」です。入場をしたあと、全生徒で「フォークダンス」を行いました。曲は「オクラホマ・ミキサー」。レクチャーは、3年生が行いました(下の画像は、沖縄タイムスに

掲載された記事になります)。照れくさそうにしながらも、3年生は手をつないで踊ってくれました。1、2年生はもっと練習が必要でしょうね!



フォークダンスの後は、勉先生作成の「思い出ムービー」を視聴し、交流を振り返りました。そして、パートナー同士が感想を述べ合いました。途中、感極まって泣いてしまう場面もありましたが、来月の再会を誓い合いました。通訳の芳子さんも、お疲れ様でした。



会の最後は、全員で記念撮影。それから退場をして、慌ただしく宮古空港行きのバスに乗り込み、全校生徒で下地中学校からの見送りをしました。



下地中 台湾の生徒と交流

宮古島 相互訪問事業 15人迎える

【宮古島】27年続く宮古島市立下地中学校と台湾・漢口国民中学校の交流事業が3～6日、宮古島市の下地中で行われた。下地中の生徒宅に台湾の生徒15人がホームステイし、来間島での海水浴や日本食、地元テレビ局への出演など滞在を満喫。お別れ会では涙ぐんで抱き合う生徒もあり、絆の深まりを感じさせた。台湾出身で市内在住の羽

芳子さん(72)が企画した。長男の伸之さん(42)がバスケットボールをしていた下地中3年の1999年、台湾とのスポーツ交流を考えたことがきっかけ。宮古島トライアスロンの選手に台中市出身者がいた縁で、同市の漢口中とつながった。両校でこれまで400人以上が相互訪問しているという。お別れ会ではフォークダン



スを踊り、写真で滞在期間を振り返った生徒たち。交流を通して外国人とも壁をつくらず、海外の大学に進学した人において視野が広がっているという。

下地中3年の松川藍丸さんは「自宅では一緒にゲームをしてご飯を食べて仲良くなっ

た。外国人への見方も変わった」と感想。台湾の生徒は「宮古島の海は、言葉にできないほどきれい」「下地中の生徒が温かいので、不安はなかった」と語った。

下地中の生徒10人は8月、台湾を訪ね交流する。(宮古支局・又吉健次)

宮古空港では、パートナーとホストファミリーによる見送りをしました。来月再会するとはいえ、別れはやはり辛いものですね。

一行は那覇空港に向かい、沖縄本島での観光を1泊2日の日程で行ったそうです。

7/6(月)「令和8年度『青少年の非行防止』
県民一斉行動宮古島市民大会」において

宮古地区の中学生を代表して 上地慶悟さんが意見発表!

「台湾からの国際交流団」見送りの余韻の残る7/6(月)、16:00からマティダ市民劇場で、みだしの「令和8年度『青少年の非行防止』県民一斉行動宮古島市民大会」が開催されました。その大会において、宮古地区中学生を代表し、下地中学校2年生の上地慶悟さんが、意見発表を行いました。タイトルは「薬物乱用を防ぐために」です。それでは、内容を紹介します。



薬物の乱用を防ぐために

下地中学校2年 上地 慶悟

僕は最近、学校やテレビなどで、薬物乱用によるニュースをよく耳にします。その事件の話を聞いて、なぜ大人も未成年も体にとっても悪い薬物を乱用する人がいるのだろう、と不思議に思います。今では、僕達の生活のすぐそばまで出回っている問題です。僕たち中学生も、他人事ではなく、自分ごととして考えなければいけないことなのです。

薬物には覚醒剤、大麻、危険ドラッグなどがあります。その中でも日本では、覚醒剤が一番使われています。どの薬物も一度使うと依存性があり、やめられなくなってしまう。「ちょっとだけなら大丈夫」「ストレスを解消したい」と思い、一回でも使用してしまうと抜け出せなくなってしまう。依存してしまうと家族や友達との関係も崩れてしまい、体もこわしてしまいます。



「危険なもの」と分かっているはずなのに、なぜ人は薬物を使用してしまうのでしょうか。それは、日々のストレス解消や、友達に誘われた仲間はずれにされたくない、などの理由があるからです。そうならないよう、普段からストレスをためすぎないことが大事なのです。薬物をやっている人はカッコいい、やっていない人はダサい、などでは

なく、友達の誘いに乗ってしまうことが、いけないことなのです。どんなに仲の良い友達に誘われたとしても、絶対に「やらない」ということを伝えるのが大切です。もし友達がやろうとしていた時には、誰かに相談したり、自信を持って止めることが、その人の助けになります。僕たちが考えないといけないことは、友達のことでなく、やはり自分自身が一番大切だということです。どんなにつらいことがあっても、親や友達など信頼できる人に相談することで、自分を守ることができます。スポーツや勉強をがんばることで、薬物の誘惑に負けない力をつけることができるのです。また、そのような誘惑に乗らないためには、正しい知識を身につけること、そして日々の生活が重要です。

僕は、これからも健康でいられるよう、薬物には手を出さずに生活していきます。もし、誰かが薬物を使用するか悩んでいたときに、相談されるような人になって寄り添ってあげたいです。薬物は、もう僕たちの身の回りまで近づいてきています。これからの生活の中で、人から怪しい薬などをもらったり、よく分からない誘いがあったりした時には、しっかりと確認し、強い意志を持って断れるよう気をつけていきたいです。

大会の様子については、宮古毎日新聞の掲載記事から一部引用をします。

市民大会は宮城克典教育長の開会のことばで幕を開けた。主催者の嘉数登市長(砂川朗副市長代読)が、「近年青少年を取り巻く環境は大きく変化している。特にスマートフォン、SNSの普及は子どもたちの生活を便利にする一方で誹謗中傷やネットいじめに犯罪への巻き込みなど新たな課題も生み出している」と言及した。



その上で「深夜徘徊や飲酒、喫煙、薬物乱用などは青少年の健全な成長を阻害し将来に大きな影響を及ぼす問題。こうした問題を未然に防ぐためには家庭や学校だけでなく地域全体で子どもたちを見守り支えていくことが重要。地域の大人が良き手本となり、積極的に声かけや見守りを通して子どもたちが安心できる環境をつくることが非行防止の大きな力となる。関係機関との連携を一層強化し青少年の健全育成に積極的に取り組んでいきたい」と述べた。

【お知らせ】

☆明日から、「夏休み」に入ります。今回紹介した「青少年の非行防止」に留意し、誘惑に負けない

・巻き込まれない強い意志をもちましょう。気になることは、周りの大人に相談しましょう。

